

平成22年上半期における水産物の水揚状況について(速報値)

平成22年10月6日
水産課

1 県内漁協の水揚状況(1月～6月)

漁獲量は7,259トンで前年同期に比べ約4%増加した。漁獲金額は3,336百万円で約2%増加した。

【内訳】

- ・沖合底曳網は、アカガレイが1,037トンで前年同期に比べ6%減少、ハタハタが831トンで17%減少したが、ズワイガニは346トンで16%増加した。
- ・沖合いか釣り、スルメイカが1,445トンでほぼ前年並みであった。
- ・沿岸漁業は、ハマチが261トンで36%減少したが、アジ類が394トンで12%増加した。

区分	上段：漁獲量(トン) 下段：漁獲金額(百万)		対前年比	対前年 増減	主要魚種
	21年上期	22年上期			
沖合底引き網	3,515	3,666	104.3%	151	ズワイガニ・ハタハタ アカガレイ等
	1,732	1,831	105.7%	99	
沖合いか釣り	1,550	1,485	95.8%	△65	スルメイカ
	641	552	86.1%	△89	
沿岸漁業	1,928	2,108	109.3%	180	ハマチ・アジ等
	901	953	105.8%	52	
合計	6,993	7,259	103.8%	266	
	3,274	3,336	101.9%	62	

(水産課調べ)

2 境港の水揚状況(1月～6月)

漁獲量は52,712トンで前年同期に比べ、アジやサバ、イカ類などの漁獲減により約3%減少した。漁獲金額は7,435百万円で約7%減少した。

区分	漁獲量(トン)		対前年比	対前年 増減
	21年上期	22年上期		
アジ	16,276	7,441	45.7%	△8,835
サバ	9,862	6,001	60.8%	△3,861
マイワシ	869	3,374	388.3%	2,505
ウルメイワシ	2,815	3,788	134.6%	973
カタクチイワシ	9,757	14,765	151.3%	5,008
イカ類	892	213	23.9%	△679
ベニズワイガニ	5,494	5,553	101.1%	59
その他	8,338	11,577	138.8%	3,239
水揚量 合計	54,303	52,712	97.1%	△1,591
金額(百万円)	8,009	7,435	92.8%	△574

(資料：(社)境港水産振興協会)

3 クロマグロの水揚状況(6月～8月)

クロマグロの水揚実績(6月1日～8月5日)は、水揚本数18,409本(前年比111.5%)、漁獲量654トン(前年比74.5%)、漁獲金額936百万円(前年比85%)となった。

区分	21年	22年	対前年比	対前年増減
漁獲量(トン)	878	654	74.5%	△224
水揚本数	16,515	18,409	111.5%	1,894
金額(百万円)	1,101	936	85.0%	△165

(境港水産事務所調べ)